

シックハウス症候群とは？

新築やリフォームした住宅へ引越したり家具を買い替えたりすることによって

- 頭がぼんやり重い
- 目が痛い、視覚異常
- 口が渇く、口中にいやな味
- 味が解らなくなる
- 吐き気、食欲がなくなる

のような症状がみられることがあります。このような症状はシックハウス症候群と呼ばれ、問題になっています。その原因のひとつは、建材や家具、日用品などから発散するホルムアルデヒドや、トルエン、キシレンなどの揮発性有機化合物（VOC）と考えられています。

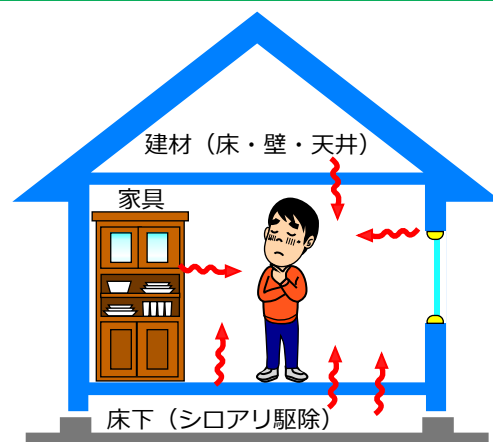
また、学校においても同じ症状を起こす場合がある(シックスクール)ことが問題になっています。

シックハウス症候群原因物質の主な発生源

発生源となっているものには、こんなものがあります。

- 家具や建材、壁紙に使われている塗料、接着剤
- 殺虫剤や防虫剤
- 芳香剤

など住宅に使用される建材だけでなく、日常生活で使用する家具や生活用品などもシックハウス症候群の原因物質となります。



シックハウス症候群原因物質の測定方法

当協会ではシックハウス原因物質の測定を行っております。

◆測定項目

ホルムアルデヒド・アセトアルデヒド・トルエン・キシレン・スチレン・エチルベンゼン・パラジクロロベンゼンなど

◆測定方法

● アクティブサンプリング法

ポンプなどを使って強制的に室内空気を吸引、捕集管に原因物質を吸着濃縮し、測定します。専門のスタッフが作業を行います。

● パッシブサンプリング法

捕集管を部屋内に24時間吊して置くことで室内の空気を採取、測定します。（採取作業はお客様自身で行うことも可能です。その後、捕集管を返送していただければ原因物質について定量を行います。）



アクティブサンプリング法



パッシブサンプリング法